

平成31年度 志木市予算及び事業概要説明

市民力でつくる

未来へ続くふるさと 志木市

～ずっと住み続けたい、住んでみたいまちをめざして～

－ 目 次 －

I	平成31年度当初予算について	1
1	財政環境と予算編成の基本的な考え方	1
2	予算規模	4
II	平成31年度 事業概要	5
III	平成31年度 一般会計の概要	21
1	歳入	21
2	歳出（目的別）	22
3	歳出（性質別）	23
4	主な増減	24
	(1)歳入	
	(2)歳出（目的別）	
	(3)歳出（性質別）	
IV	平成31年度 特別会計・企業会計の概要	28
1	特別会計・企業会計の予算概要	28
	(1)特別会計	
	(2)企業会計	
	(3)各会計への一般会計からの繰出状況	
2	特別会計の概要	29
3	企業会計の概要	31
	(1)水道事業会計	
	(2)下水道事業会計	

I 平成31年度当初予算について

1 財政環境と予算編成の基本的な考え方

平成31年度における本市を取り巻く財政環境は、歳入面では、平成30年度に引き続き、人口増に伴う個人市民税納税義務者数の増などにより、市税収入の増加を見込んでおります。

国の平成31年度地方財政対策によると、景気回復等により地方税や地方譲与税などが増収となる中で、一般財源総額については、社会保障の充実分のほか、人づくり革命に盛り込まれた幼児教育の無償化等にかかる事業費や防災・減災対策等に関する事業費の財源が確保されたことなどにより、前年度を上回る額となっております。

また、地方交付税の原資となる国税の増収により、地方交付税が7年ぶりの増加に転じたことなど、地方の財源不足が縮小されることとなった一方で、臨時財政対策債は2年連続で減少となった結果、地方交付税及び臨時財政対策債の総額は対前年度比で0.6兆円の減となるなど、一般財源の一部については減少が見込まれることから、引き続き慎重にその動向を見極めていかなければならない状況にあると考えております。

歳出面では、幼児教育の無償化の実施などにより、さらなる高まりが予想される保育需要に対応するための保育関係経費や、超高齢社会の進展に伴う医療・介護関係経費など、社会保障費の伸びは増加の一途をたどっている状況にあります。さらに、新市庁舎の建設にかかる事業費のほか、老朽化が進む公共施設や道路・上下水道などのインフラ施設の更新・維持補修経費についても多大な財政負担が見込まれており、今後の財政運営における大きな課題となっているところであります。

このような財政環境の中、平成31年度の予算編成に当たりましては、これらの課題に対処するため、「志木市の将来を見据えた『まちづくり新35の実行計画』を、スピード感をもって着実に実行するための予算を計上すること」、「志木市新行政改革プランにおける『事務事業の見直し』の検証結果に基づき、必要な見直しを行うとともに、予算の要求にあたっては精度の高い見積りを行い、必要最小限の予算を計上すること」、「国・県等の補助金を積極的に活用するなど、一般財源の持ち出しを縮小すること」、「サマーレビュー及び事業判定会の結果や職員提案制度による提案を踏まえた予算とすること」、「志木市将来ビジョンにて掲げるまちの将来像の実現に向け、志木市戦略プロジェクトを具現化する事業を計上すること」の5点を基本的な考え方とし、効果的な財源の配分に努めたところであります。

この結果、平成31年度の予算案の規模は、
一般会計
248億円（対前年度比 3.9%増）
特別会計
127億 136万4千円（対前年度比 3.8%増）
企業会計
49億8,030万4千円（対前年度比 0.5%減）
合 計
424億8,166万8千円（対前年度比 3.4%増）
となりました。

一般会計については、民生費が対前年度比でおよそ4億2,000万円の増額となったことなどに伴い、予算総額は、対前年度比でおよそ9億4,000万円の増額となりました。

歳入面では、歳入の根幹を成す市税の予算額は対前年度比0.9%の増、総額でおよそ108億5,900万円を見込んでおります。

個人市民税では、本市の人口は増加傾向を維持していることから、納税義務者を700人程度の増、およそ39,100人と見込むとともに、景気回復基調の持続が期待される中で雇用・所得環境の改善を背景に個人所得が緩やかに増加することにより、対前年度比0.6%の増、51億9,409万8千円と見込んでおります。

法人市民税は、緩やかな景気回復が続き、個人消費の持ち直しによる市内法人の収益改善を見込む一方で、昨今の諸外国による輸入関税強化が経済に与える影響に留意する必要があることから、対前年度比0.5%の増とし、4億5,608万3千円と見込んでおります。

固定資産税は、志木地区を中心に地価が上昇に転じたものの、土地は住宅用地の課税標準の特例の適用によりほぼ横ばい、家屋は評価の据置年度であるため新・増築分を増とし、対前年度比1.3%の増、41億5,493万6千円と見込んでおります。

軽自動車税は、軽四輪乗用車の登録台数の増加及び買替えによる新税率への切り替えが進んでいること、また税制改正により新たに環境性能割が導入されることなどもあり、対前年度比4.9%の増、7,336万円と見込んでおります。

市たばこ税は、旧三級品が10月から一般たばこの税率と統合されることや加熱式たばこの税率の段階的な引上げなどにより、対前年度比3.1%の増、2億9,670万1千円と見込んでおります。

普通交付税は、国の平成31年度地方財政対策において地方交付税総

額が7年ぶりの増加に転じることから、対前年度比4.5%の増、11億5,000万円と見込んでおります。

国庫支出金は、新たな民間の認可保育園の整備に伴う保育所等整備交付金の増などにより、対前年度比1.6%の増、41億2,713万3千円と見込んでおります。

市債は、宗岡第四小学校校舎増築工事にかかる市債が減となったことや、国の平成31年度地方財政対策において臨時財政対策債が減となることなどにより、対前年度比15.4%の減、15億3,430万円と見込んでおります。

繰入金は、財政調整基金からの繰入を17億6,585万6千円とするとともに、現市庁舎の解体費用などの財源として、公共施設安心安全化基金からの繰入を5億5,696万1千円とし、全体として対前年度比37.3%の増、23億5,139万7千円と見込んでおります。

これによりまして、平成31年度当初予算取崩し後の財政調整基金残高は、およそ9億6,000万円と見込んでおります。

歳出面につきましては、志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画 将来構想）で掲げたまちの将来像の実現をめざし、施策の大綱に沿って、「Ⅱ平成31年度事業概要」に掲載しております。

2 予 算 規 模

(1) 一般会計

248 億円 (前年度当初比 3.9%増)

(前年度当初 238 億6,500万円)

《一般会計予算規模の推移(当初予算比)》

(単位：千円・%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
予 算 額	21,719,000	22,111,000	23,228,000	23,865,000	24,800,000
増 減 率	3.7	1.8	5.1	2.7	3.9

(2) 全会計合計(一般・特別・企業会計)

424 億8,166万8千円 (前年度当初比 3.4%増)

(前年度当初 411 億0,175万4千円)

《全会計予算規模の推移(当初予算比)》

(単位：千円・%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
予 算 額	40,123,425	41,026,304	41,857,143	41,101,754	42,481,668
増 減 率	6.1	2.3	2.0	▲1.8	3.4

Ⅱ 平成31年度 事業概要

志木市将来ビジョン施策大綱

1 市民力が生きるまちづくり

- 1-1 子育てしやすいまちづくり
- 1-2 地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり
- 1-3 高齢者がいきいき暮らすまちづくり
- 1-4 市民が協働するまちづくり
- 1-5 一人ひとりが輝くまちづくり

新35 新 複数・少人数指導体制 ～スマート・クラス～ の導入

[学校教育課] 93,564 千円

2020年度から実施される新学習指導要領への対応や児童の基礎学力の定着と学力の向上を目指し、これまでの少人数学級編制制度を改め、新たに複数・少人数指導体制を導入します。これにより、すべての小学校に学級担任と共にきめ細かな指導を行う教員が配置されることとなり、その中でも、学習のつまずきが現れ始める小学校3年生と4年生の学級には、学力向上のノウハウを有する民間の塾講師を教員として配置します。

“スマート” …… S h i k i (志木)

M u l t i p l e (多数の、複数の)

A s s i s t a n t (アシスタント、補佐)

R e l i a b l e (頼りになる、信頼できる)

T e a c h e r (教員)

新35 新 小学校英語教育の発展・充実に向けた支援教員の配置

[学校教育課] 3,564 千円

グローバル社会に生きる子どもたちの学習環境を充実させるため、小学校の外国語活動において、学級担任及びA L Tと共に指導を行う市費専科教員を配置します。

新35 新 フレイル予防・重症化予防の推進 [長寿応援課]

150 千円

要介護状態の前段階であるフレイル（筋力低下などの虚弱な状態）予防や疾病等の重症化予防の取組を進めるため、いろは百歳体操をはじめとする高齢者の通いの場において、保健師や管理栄養士、歯科衛生士などの専門職による講話を通じた啓発や相談を行います。

新 35 子ども医療費無償化の実施 [子ども家庭課] 164,292 千円

子育て世帯の経済的支援を図るため、中学校 3 年生までの入院・通院及び高校生の入院に係る費用を子ども医療費として助成します。

新 35 保育ステーションの実施 [子ども家庭課] 13,789 千円

保育の利便性の向上を図るため、志木駅東口駅前の保育ステーションを拠点として、保育園などに園児の送迎を行います。

新 35 保育の量と質の充実 [子ども家庭課・学校教育課] 428,271 千円

待機児童を解消するため、現在の館保育園を民間事業者を引き継ぎ、2020 年度のリニューアルオープンに向けた改修工事を実施するなど、新たに民間の認可保育園を 3 園整備することで保育定員を拡大します。また、幼稚園、保育園から小学校への円滑な就学につなげるため、保育士や教員をはじめとした関係職員が一堂に会する連絡協議会を設置するなど、幼保小の連携を強化する仕組みを整え、保育の質の充実を図ります。

新 35 小・中学校 ICT 教育の充実 [学校教育課] 84,322 千円

ICT 教育のさらなる充実を図るため、市内の小・中学校 2 校に、子どもたちの学習意欲を高める効果が期待できる大型電子黒板を試験的に導入し、より見やすく・わかりやすく・楽しい学びを提供できる ICT 機器を整備します。

新 35 小中一貫教育の推進 [学校教育課] 1,370 千円

教育の質のさらなる向上を図るため、中学校の教員が小学校で授業を行う乗り入れ授業を実施するとともに、9 か年を見通したカリキュラムの作成を進めるなど、小中連携の強化や学びの円滑な接続につなげていきます。

新 35 地域包括ケアによるまちづくりの推進 [長寿応援課] 853 千円

市民及び市職員の理解を図るため研修等を実施し、具体的な事業化を検討します。また、地域団体等との情報共有の場や顔の見える関係づくりを推進し、市民の誰もが参加する地域包括ケアのまちづくりに取り組みます。

新 35 高齢者あんしん相談センターの相談機能の強化
[長寿応援課] 392 千円

高齢者あんしん相談センターのさらなる機能強化を図るため、市内 5 か所のセンターの統括及び支援を行う基幹型組織の設置も含めたセンターの機能強化について、関係機関との協議を実施します。

- 新 35** 市制施行 50 周年記念事業 [市民活動推進課] 8,256 千円
- 2020 年 10 月に迎える市制施行 50 周年に向けて、昨年組織した検討委員会を「市制施行 50 周年記念事業実行委員会」と改め、記念事業を共に創り上げる実行委員を追加募集するとともに、市民アイデアによる PR 活動や新市庁舎建設に伴い解体工事を行う現市庁舎を活用した市制施行 50 周年記念プレ事業等を実施します。
- 新 35** コミュニティふれあいサロンの設置 [市民活動推進課] 360 千円
- 地域コミュニティの活性化及び世代間交流の促進を図るため、市内の空き家等を活用し、地域の方が歩いて気軽に集えるコミュニティふれあいサロンを設置します。
- 新 35** アクティブシニア等の社会参加支援 [市民活動推進課・産業観光課] 101 千円
- 元気な高齢者（アクティブシニア）をはじめとする市民のボランティアや地域活動の“初めの一步”を応援するため、市、関係機関、市民団体、NPO 法人、シルバー人材センター、ハローワーク等が一堂に会した、市民向けの活動総合説明会を開催します。
- 新 35** 世代間交流のさらなる拡充 [市民活動推進課] 21,006 千円
- 世代間交流事業を充実させるため、ふれあい館「もくせい」において、住民目線による世代間交流事業を展開します。あわせて利用しやすい施設とするための改修に向けた設計を実施します。
- 新** 第 2 期志木市子ども・子育て支援事業計画の策定 [子ども家庭課] 2,750 千円
- 子どもの健やかな育ちを支援するとともに、妊娠から出産、子育て期までの母子保健に係る計画を含めた「第 2 期志木市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。
- 新** プログラミング教育の推進 [学校教育課] 924 千円
- 2020 年度新学習指導要領の全面実施に向け、プログラミング教材を全小学校に整備するとともに、教員がプログラミング教育に円滑に取り組めるよう、プログラミング教材を活用した研修を実施します。

- 新** 学校施設長寿命化個別計画の策定 [教育総務課] 4,841 千円
 学校施設に求められる機能・性能を確保し、中長期的な維持管理等に係る経費の縮減等を図るため、「学校施設長寿命化個別計画」を策定します。
- 新** 小・中学校敷地の樹木更新 [教育総務課] 6,000 千円
 台風等の強風による倒木の二次災害を防止するため、学校敷地内にある高さ 10m を超える高木を低木に更新します。
- 新** 志木第二小学校体育館大規模改修の設計 [教育総務課] 10,000 千円
 良好な教育環境を確保するため、志木第二小学校体育館の大規模改修工事の設計を実施します。
- 新** 青少年健全育成事業の充実 [生涯学習課] 50 千円
 青少年健全育成のため、野外活動を通じ、他者や地域との交流、親子とのふれあいを生かしながら協調性・自主性・集団の中での役割を学ぶ事業をボーイスカウトと共同して実施します。
- 新** 外国人生活相談窓口の開設 [市民活動推進課] 184 千円
 志木市在住の外国人がスムーズに市役所で行政手続き等が行えるよう、相談支援員が通訳を行い、申請や届出の手続きなどをサポートします。
- ・ 子育て支援センター（ぷちまある）の開所日数の拡大
 [子ども家庭課] 6,836 千円
 子育て家庭のさらなる支援を図るため、子育て支援センターのうち、本町地区にある「ぷちまある」の開所日数を週 3 日から週 5 日に拡大します。
 - ・ 「放課後志木っ子タイム」の実施
 [子ども家庭課・生涯学習課] 196,734 千円
 児童が放課後などを安全・安心に過ごし、地域ならではの創意や工夫を生かした多様な体験・活動を行えるようにするため、「放課後志木っ子タイム」を実施します。平成 31 年度は、新たに志木小学校をはじめとする 5 つの小学校で導入し、市内 6 小学校で事業を展開します。
 - ・ 志木第三小学校体育館の改修 [教育総務課] 208,234 千円
 良好な教育環境を確保するため、志木第三小学校体育館の大規模改修工事を実施します。

- ・ **小・中学校コミュニティ・スクールの推進** [学校教育課] 2,725 千円

地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進めるため、保護者や地域住民、学校長などで構成される学校運営協議会を新たに小学校5校、中学校3校に新設し、コミュニティ・スクールを市内全小・中学校に拡大します。
- ・ **教育相談体制の充実** [教育サポートセンター] 33,678 千円

中学校区における教育相談体制を充実するため、教育相談員を1名増員し、市内すべての中学校に設置している校内相談室の開室日数を週4日から週5日に拡大します。
- ・ **特別支援学級の新設及び特別支援教育支援員の増員**
[学校教育課・教育サポートセンター] 39,710 千円

特別な配慮を必要とする児童・生徒が安全・安心で楽しい学校生活を送れるようにするため、宗岡第三小学校と宗岡第四小学校に特別支援学級を新設するとともに、特別支援教育支援員を増員することで、適切な学習支援や学校生活におけるサポート体制の充実を図ります。
- ・ **いきいきサロンによるパソコン教室の開設** [長寿応援課] 1,250 千円

地域のボランティアが運営する高齢者の集いの場である、いきいきサロンにインターネット環境を整備し、高齢者にも分かりやすいパソコン教室を開設することで、集いの場の充実を図ります。
- ・ **地域敬老会支援事業の拡充** [長寿応援課] 1,850 千円

地域活動のさらなる活性化と集いの場の醸成を図るため、市内町内会等で実施する敬老会の事業費の一部を補助する地域敬老会支援事業について、より多くの団体が利用できるよう対象団体を拡充します。

志木市将来ビジョン施策大綱

2 市民を支える快適なまちづくり

- 2-1 健康に暮らせるまちづくり
- 2-2 福祉が充実したまちづくり
- 2-3 豊かな文化を育むまちづくり
- 2-4 スポーツを楽しむまちづくり

新 35 いろは健康ポイント事業の拡充

〔健康政策課・保険年金課〕 22,883 千円

市民の健康寿命の延伸につなげるため、いろは健康ポイント事業の医療費削減効果をはじめとする事業効果を検証するとともに、参加者数を拡大します。

新 35 「おいしく減塩！『減らソルト』プロジェクト」の推進

〔健康政策課・保険年金課・健康増進センター・

子ども家庭課・長寿応援課・学校教育課〕 1,741 千円

民間企業と連携した減塩料理教室を開催するほか、公共施設2か所に自動血圧計を増設します。また、特定健診・推定摂取食塩量検査の結果からハイリスク者へのアプローチを行います。

新 「志木っ子元気！子どもの健康づくりプロジェクト」

の推進

〔健康政策課〕

420 千円

生涯にわたり健康的な生活を送るため、小学生を対象に、足圧分布や下肢筋力など足部の測定を行い、子ども一人ひとりが抱える足の現状や課題に応じた、日常的なセルフケア方法などのアドバイスを行う、足部機能・骨格発達支援事業を実施します。

新 地域の「しょく（食・職）場づくり」担い手育成による

食育の推進

〔健康政策課〕

3,276 千円

誰もが健康でいきいきと暮らせるまちの実現に向け、民間企業との共同研究による食育推進事業を実施します。市民が主体となって地域の方々が食事を共にする共食の場を創出するため、食の担い手となる市民食育サポーターを養成することで、自立した地域食育活動の展開を推進し、子どもや高齢者の孤食の防止をはじめ、食生活の改善にもつなげます。

新 妊婦を対象とした歯科検診の実施

〔健康増進センター〕

1,205 千円

妊娠に伴うホルモンバランスの変化などにより歯周疾患のリスクが高まる妊婦を対象に、歯肉炎等の早期発見や早期治療につなげる妊婦歯科検診を実施します。

新 「まちなか保健室」の設置

〔健康増進センター〕

251 千円

誰もが安心して過ごせるまちづくりを推進するため、毎週日曜日に市民会館において、市民の皆さんの健康・福祉・介護・子育て等に関する気になることや悩み事について、保健師などの専門職に気軽に相談できる「まちなか保健室」を設置します。

新 特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の向上
[健康政策課・保険年金課] 2,159 千円

特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の向上のため、集団健診の受診者に対し、健診結果説明会を実施し、結果説明のほか同会場で個別相談、特定保健指導などを行うことで、特定健康診査の必要性の理解を深め、継続受診を促します。

新 国保多子世帯応援給付金の支給 [保険年金課] 4,000 千円

国民健康保険税率の改定に伴う子育て世帯の負担の増大を軽減するため、総所得が300万円以下の世帯に対して、第2子以降の子どもの人数に応じて「国保多子世帯応援給付金」を支給します。

新 第4期志木市地域福祉計画の策定 [福祉課] 2,970 千円

地域福祉の推進に向け、地域福祉施策の主軸となる「第4期志木市地域福祉計画」を策定します。計画には「他人事」になりがちな地域づくりを地域の皆さんが「我が事」として取り組む仕組みや、さまざまな地域生活課題を「丸ごと」受け止めるための総合相談支援体制の整備などを盛り込むことで、地域共生社会の実現を目指します。

新 宗岡公民館大規模改修の設計 [いろは遊学館] 5,363 千円

建築から41年が経過する宗岡公民館について、設備更新などを含めた大規模改修工事のための設計を実施します。

新 図書館における保育サービスの実施 [いろは遊学図書館] 56 千円

乳幼児を連れた利用者が気兼ねなくゆっくりと本を選んでいただくことができるよう、図書館における保育サービスを実施します。

・ 第5回ノルディックウォーキング・ポールウォーキング
全国大会の開催 [健康政策課] 4,200 千円

市民の健康増進を図るとともに、まちのにぎわいの創出につなげるため、平成27年度より開催しているノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会の第5回大会を5月19日（日）にいろは親水公園を中心に開催します。

- ・ **いのちの支えあいを学ぶ授業の実施** 【健康増進センター】 200 千円

子どもたちが自己肯定感を高め自分を大切にすることができるようにするため、市内全中学校の１年生を対象に、生活上の困難やストレスに直面した時の対処の仕方を学ぶ授業を実施します。
- ・ **後見ネットワークセンター相談体制の充実** 【長寿応援課】 16,570 千円

成年後見制度のさらなる利用促進と市民後見人の育成を推進するため、後見ネットワークセンターにおける法律専門職及び福祉専門職を増員することで、相談体制の充実を図ります。
- ・ **「元気に育つ志木っ子条例」の推進** 【生涯学習課】 1,173 千円

子どもの健やかな成長に向けて、家庭教育を支援することを目的とした「元気に育つ志木っ子条例」を推進するため、インターネットやカードゲーム等に起因するトラブルについて、新たに乳幼児の保護者に対しても情報モラル講演会等を開催します。
- ・ **ハケ岳自然の家の管理運営** 【生涯学習課】 22,650 千円

施設の活性化と利用促進を図るため、新たな指定管理者として株式会社塚原緑地研究所を指定し、自然観察会や星座観察会などのハケ岳周辺の自然を生かした多彩な事業を展開します。
- ・ **市民体育館・武道館・夜間照明施設の管理運営**
【生涯学習課】 32,080 千円

多くの市民が集うスポーツ、健康、交流の拠点である市民体育館・武道館・夜間照明施設の新たな指定管理者としてミズノグループを指定し、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした多種多様なスポーツプログラムの実施や利用促進に向けた新たなサービスの開始など、さらなる市民サービスの向上につながる事業を展開します。

志木市将来ビジョン施策大綱

3 活力と潤いのあるまちづくり

- 3-1 地域産業が活発なまちづくり
- 3-2 魅力的なまちづくり
- 3-3 水と緑にあふれるまちづくり
- 3-4 地球環境にやさしいまちづくり
- 3-5 資源循環型のまちづくり

新35…新35の実行計画関連事業 新…新規事業

新 35 **新** 志木駅東口周辺のにぎわいづくりに向けたワークショップ
及び社会実験の実施 [産業観光課] 1,700 千円

駅前周辺で事業を展開する事業者や地権者、市民などを対象に、自らの力で地域の価値を高め、補助金に頼らない持続するまちづくりを推進するための「にぎわいづくりプレイヤー育成ワークショップ」を開催します。本取組の中では、志木駅東口ペDESTリアンデッキを活用したにぎわい創出事業の企画立案を行い、実効性が高いと評価された事業については、試験的に実施（社会実験）するなど、志木駅東口周辺のにぎわい創出につなげます。

新 35 **新** いろは親水公園民間活力導入可能性調査及び
基本計画の策定 [秘書政策課] 9,000 千円

いろは親水公園のさらなるにぎわいを創出するため、飲食提供施設の設置や魅力ある遊具の整備、管理方法なども含めて、当該公園のもつポテンシャルをより一層生かすアイデアを民間事業者等から募集する「サウンディング型市場調査」を実施し、魅力向上につながる整備手法等を検討します。

新 35 アートによるにぎわいづくり事業の拡大 [産業観光課] 2,500 千円

志木市の玄関口である志木駅東口のにぎわいを創出するため、平成30年度に完成した本市の広報大使であるカパルをモチーフとしたトリックアートをPRするとともに、この取組を足掛かりに、ペDESTリアンデッキを活用したアート事業をさらに拡張し、駅から駅前商業施設、商店街へと続く人の流れを創出します。

新 35 いろは親水公園にぎわい事業
[市民活動推進課・産業観光課・都市計画課・生涯学習課] 33,939 千円

いろは親水公園に多世代の市民が集い、にぎわいあふれる憩いの空間を創出するため、コミュニティ協議会などと連携して、四季折々の花や緑で公園内を彩るとともに、風情豊かな景色を堪能できる和舟回遊事業「いろはの渡し」やカヌー体験教室を実施します。また、埼玉県と連携して、中洲への船着場の設置や中洲と右岸を結ぶ流れ橋の新設工事を進めることで、いろは親水公園の魅力の倍増につなげます。

新 採れたて！しきの野菜市の開催 [産業観光課] 180 千円

地産地消の推進を図り、市内の生産者が栽培した新鮮で安全・安心な農産物を多くの人に知ってもらうため、農業の専門的な知識やノウハウを持つJAあさか野に委託し、志木駅東口ペDESTリアンデッキなど、人が多く集まる市内の公共的空間で販売します。

新 カパル活動応援事業 [産業観光課] 200 千円

志木市広報大使のカパルがゆるキャラ®グランプリ2018において、ご当地キャラクター部門第1位を獲得した功績を称え、カパルの活動を応援するとともに、カパルの知名度を生かした観光PR活動を行います。

新 デザインにカパルを用いた原付バイクのご当地ナンバープレート
の交付 [課税課] 481 千円

郷土への愛着を醸成するとともに、走る広告塔として市内外に志木市をPRするため、志木市広報大使のカパルを用いたオリジナルデザインの原動機付自転車のご当地ナンバープレートを交付します。

新 市制施行50周年記念下水道デザインマンホール蓋の作成
[下水道施設課] 1,100 千円

2020年10月に迎える市制施行50周年を記念して、本市の特色を生かしたデザインマンホール蓋を作成します。デザインマンホール蓋は50周年を迎える2020年度に設置するとともに、マンホールカードの作成にも取り組みます。

・ 次世代環境リーダーの育成に向けた環境講座の実施
[環境推進課] 66 千円

志木市らしい良好な環境の保全や持続可能な社会の実現に向け、市民の皆さんと共に作成した「第三期志木市環境基本計画」に基づき、まちの環境施策の担い手となる次世代環境リーダーを育成するための環境講座を開催します。

・ 児童公園のトイレ改修 [都市計画課] 9,320 千円

誰もが快適に利用できる公園づくりを進めるため、都市公園以外の公園に設置されているトイレの改修を行います。平成31年度は羽根倉児童公園のトイレを改修します。

・ ムクドリの防除対策 [環境推進課] 929 千円

ムクドリによる夜間の騒音やフンによる環境悪化を防ぐため、志木駅前周辺にムクドリ用の防除装置を増設します。

志木市将来ビジョン施策大綱

4 未来を支えるまちづくり

- 4-1 都市基盤を生かしたまちづくり
- 4-2 交通の利便性が高いまちづくり
- 4-3 安全で安心なまちづくり
- 4-4 災害に強いまちづくり

新 35 **新** 防犯カメラの市内全域設置 [市民活動推進課] 7,053 千円

「犯罪に強いまち志木」を推進するため、各町内会や警察と協議・連携し、犯罪抑止策の一つである防犯カメラを市内全域約 120 か所に設置します。

新 35 歩道の快適化 [道路課] 40,033 千円

市内にある歩道の段差の解消、平坦性、有効幅員の確保など、誰もが安心して歩きやすい歩道にするため、歩道の快適化を推進します。平成 31 年度は、市道第 2129 号線を含む 3 路線の歩道改修を実施します。

新 35 道路排水施設の改修 [道路課] 50,380 千円

ゲリラ豪雨等による浸水被害を軽減するため、道路横断側溝の設置や集水桝の交換を実施するとともに、既設道路排水施設の流下能力を増補する改修を行うことで、道路冠水被害の軽減を図ります。

新 35 ホームドア整備の促進 [都市計画課] 58,242 千円

線路への転落や列車との接触等の事故防止を図るため、志木駅のホームにおけるホームドア設置に係る費用の一部を負担します。

新 35 消防団第 4 分団単独車庫の新設 [防災危機管理課] 59,742 千円

消防団による消防・防災活動の強化を図るため、現在、消防団第 5 分団と共同で使用している消防団第 4 分団車庫を新たに担当エリア内に単独で整備します。

新 35 学校雨水流出対策の実施 [道路課] 35,000 千円

ゲリラ豪雨等による道路冠水被害を軽減するため、志木第四小学校に雨水流出対策工事を実施します。

新 市営墓地の拡張整備 [環境推進課] 258,941 千円

市民の墓地に対する需要が高まっていることを踏まえ、柏町にある市営墓地の拡張整備を実施します。整備にあたっては、近年の家族形態の多様化に伴う新たな墓地のニーズに応えるため、継承者がいなくても利用できる合葬式墓地も設置します。

新 橋^{りょう}梁長寿命化修繕計画の策定 [道路課] 3,740 千円

橋りょうの長寿命化と安全性・信頼性を確保し、維持管理コストの縮減と予算の平準化を図るため、国が定めた道路橋定期点検の診断結果をもとに、「志木市橋梁長寿命化修繕計画」を策定します。

新 柳瀬川駅前自転車駐車場の改修 [都市計画課] 18,307 千円

施設の老朽化に伴い、屋上などからの漏水を防止するため、屋上等防水対策工事を実施します。

新 小・中学校体育館空調設備工事の設計 [教育総務課] 39,930 千円

災害時における体育館の避難所機能の強化と記録的猛暑をはじめとする異常気象から子どもたちの健康を守るため、市内全小・中学校の体育館へ空調設備の設置に向けた工事の設計を実施します。

・ 新市庁舎の建設（現市庁舎の解体） [新庁舎建設推進室]

平成31年度計上額 168,000 千円

※解体費総額（継続費） 420,000 千円

新市庁舎の建設に向けて、2020年1月より現市庁舎の解体に着手します。今後、2022年度からの供用開始を目指して、4か年の新市庁舎建設事業を着実に進めます。

・ 中央通停車場線の整備促進 [都市計画課] 29,400 千円

都市機能の充実を図るため、県が施行する都市計画道路中央通停車場線の整備に対し、事業費の一部を負担します。平成31年度は前年度に引き続き、第3工区（昭和新道先から富士見大原線まで）の用地買収などが実施されます。

・ 市営住宅給水設備の改修 [建築開発課] 16,000 千円

市営住宅の安全で快適な住環境を維持するため、志木市市営住宅長寿命化計画に基づき、市営中野団地の老朽化した給水設備を更新します。

- **道路環境の整備（道路緊急維持補修）** **〔道路課〕** **120,000 千円**

市道の道路陥没等による事故を未然に防止するため、舗装の長寿命化修繕計画に基づき舗装修繕工事を実施します。また、劣化や傷んでいる道路施設の安全を確保するため、緊急または随時、必要な補修・修繕工事を実施します。
- **宗岡志木環状線の整備** **〔道路課〕** **35,102 千円**

都市計画道路宗岡志木環状線の整備を図るため、道路計画区域の土地所有者等との用地交渉を進めます。
- **生活道路の快適化** **〔道路課〕** **15,938 千円**

身近な生活道路について、狭あい道路や水たまり等の解消を図るため、道路の拡幅や交通安全対策をあわせて行う生活道路快適化事業を推進します。平成31年度は、市道第2001号線の道路詳細設計、用地取得のほか、市道第2107号線の物件調査積算を実施します。
- **浄水場施設における設備の更新** **〔水道施設課〕** **153,760 千円**

浄水場施設の電気・機械設備の予防保全のため、劣化状況及び設備等の重要度分類による効率的な設備の更新を実施します。
- **水道管路の耐震化** **〔水道施設課〕** **214,960 千円**

地震による被害に備え、市民生活への影響を最小限に抑えるため、被災時においても水道水を安定供給できるよう、耐震化計画に基づき、水道管路の耐震化を進めます。
- **災害備蓄用飲料水の製造** **〔水道施設課〕** **1,800 千円**

災害時の備蓄用に供するため、井戸水を活用したペットボトル水を製造するとともに、志木市の地下水及び水道事業のPRを図ります。
- **「志木市デマンド交通」の実施** **〔都市計画課〕** **34,696 千円**

高齢者や障がい者、妊婦、未就学児のいる子育て世帯などの移動手段を確保するため、自宅や公共施設、病院、商業施設などの間の移動において、低額でタクシーを利用できる「志木市デマンド交通」を継続して実施します。

- **道路環境の整備（交通安全施設）** **〔都市計画課〕** **10,671 千円**

安全で円滑な道路交通を確保するため、カーブミラー、道路標示などの交通安全施設の計画的な修繕・更新を実施します。あわせて、町内会からの要望などを踏まえながら、カーブミラーなどを適正に設置します。
- **可搬式排水ポンプの更新** **〔防災危機管理課〕** **1,664 千円**

水害対策のため、地域に設置している可搬式排水ポンプのうち、富士下橋付近に配備している 150mm の可搬式排水ポンプを更新します。
- **赤野毛排水路の整備** **〔道路課〕** **55,220 千円**

赤野毛排水路の円滑な雨水排除を行うため、未整備区間の排水路整備を実施します。
- **市民総合防災訓練の実施** **〔防災危機管理課〕** **4,627 千円**

防災関係機関の連携強化、防災技術の向上、防災意識の高揚を図るため、防災関係機関や関係団体、自主防災組織、地域住民等と連携し、市内 8 小学校を訓練会場に、4 年に 1 回の総合防災訓練を実施します。
- **避難所の防災用便槽の整備** **〔防災危機管理課〕** **30,260 千円**

災害時における下水道設備などの損壊への備えとして、避難所となる施設に設置を進めている防災用便槽について、宗岡中学校への設置工事を実施するとともに、2020 年度の設置を予定している志木第二中学校の設計を行います。
- **住宅の耐震化及び危険ブロック塀等撤去改修補助**
〔建築開発課〕 **28,000 千円**

志木市建築物耐震改修促進計画に基づき住宅の耐震化を促進するため、戸建住宅の耐震診断、耐震改修及び建替えや分譲マンションの耐震診断、耐震設計及び耐震改修に対する補助を行います。また、危険ブロック塀等の撤去、改修についても補助を行います。

志木市将来ビジョン施策大綱

5 健全でわかりやすい行政運営

5-1 健全な行財政のまちづくり

5-2 様々な情報にふれられるまちづくり

新 公用車を活用した事業PR及び啓発の拡充

[新庁舎建設推進室]

653 千円

事業PRや啓発を効果的に行うため、公用車にマグネットシートを貼り、広く周知を図ります。

新 市税などの徴収強化の推進 [収納管理課・保険年金課]

522 千円

市税などの納期内納付を促進するため、口座振替の利用者増加に向けた口座振替勧奨キャンペーンを実施します。また、残高不足で引き落としができなかった口座振替登録者のうち、携帯電話番号を登録している方などに対して納付期限前の残高確認をショートメッセージでお知らせするシステムを導入します。

まちづくりサポート基金活用事業

志木市では、平成28年3月に「志木市まちづくりサポート基金」を設置し、ふるさと応援資金など全国から寄せられた寄附金を積み立てています。

平成31年度においても基金を財源として以下の事業を実施し、ご寄附をいただいた方々からの「志木市のまちづくりを応援したい」という想いをかたちにします。

- ・ **志木市におまかせコース** 3,303 千円
水害対策用の可搬式排水ポンプの更新や消防団が使用する備品を整備し、地域の防災体制の強化を図ります。

- ・ **環境保全・地域経済の充実コース** 2,695 千円
志木駅東口駅前広場及びペデストリアンデッキに設置したイルミネーションの更新を行うほか、広報大使であるカパルの遠征等に係る活動費の一部を補助し、志木市の更なるアピールを図ります。

- ・ **子育て支援・福祉環境の充実コース** 1,728 千円
保育園で使用する視聴覚教材用備品等の整備を行い、保育環境の充実を図るとともに、市民が利用できる自動血圧計や検診用備品を購入し、健康福祉の充実を図ります。

- ・ **都市基盤の充実コース** 3,420 千円
劣化が著しい公園遊具の更新を行い、安全で安心して利用できる環境を整備するとともに、放置自転車対策として、志木駅東口バス停付近にベンチを設置し、市民が安全に通行できる環境をつくれます。

- ・ **教育環境の充実コース** 3,432 千円
小学校に大型テレビを配備し、ICT教育環境の充実を図るとともに、CD・DVD 研磨機を導入し、図書備品の保守を行うことで、図書館の利用者の利便促進を図ります。

【参考】まちづくりサポート基金各コース別残高（平成31年1月31日現在）

コース名称	金額
志木市におまかせ	19,721,103 円
環境保全・地域経済の充実	675,000 円
子育て支援・福祉環境の充実	3,225,843 円
都市基盤の充実	305,000 円
教育環境の充実	642,000 円
合 計	24,568,946 円

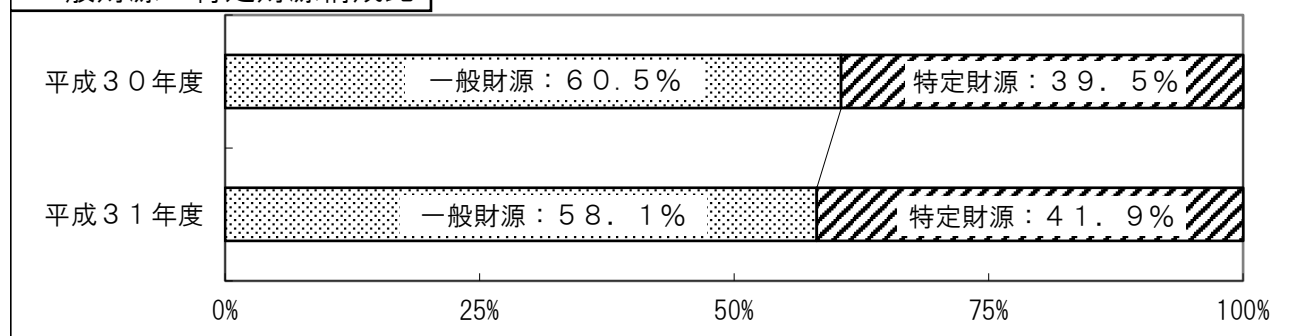
Ⅲ 平成31年度 一般会計の概要

1 歳 入

(単位：千円・%)

項 目	平成31年度	平成30年度	増減額	増減率(%)
予 算 規 模 A	24,800,000	23,865,000	935,000	3.9
市 税	10,859,607	10,757,419	102,188	0.9
地 方 譲 与 税	102,000	101,000	1,000	1.0
利 子 割 交 付 金	7,000	6,000	1,000	16.7
配 当 割 交 付 金	45,000	41,000	4,000	9.8
株式等譲渡所得割交付金	43,000	56,000	▲ 13,000	▲ 23.2
ゴルフ場利用税交付金	2,500	2,600	▲ 100	▲ 3.8
地 方 消 費 税 交 付 金	1,073,000	1,063,000	10,000	0.9
自動車取得税交付金	21,000	37,000	▲ 16,000	▲ 43.2
環 境 性 能 割 交 付 金	8,000	0	8,000	皆増
地 方 特 例 交 付 金	77,000	73,000	4,000	5.5
地 方 交 付 税	1,370,000	1,350,000	20,000	1.5
交通安全対策特別交付金	8,000	8,000	0	0.0
一 般 財 源 計 B (臨時財政対策債含む)	14,416,107	14,445,019	▲ 28,912	▲ 0.2
分 担 金 及 び 負 担 金	496,254	436,826	59,428	13.6
使 用 料 及 び 手 数 料	111,147	95,752	15,395	16.1
国 庫 支 出 金	4,127,133	4,062,140	64,993	1.6
県 支 出 金	1,852,402	1,596,156	256,246	16.1
財 産 収 入	31,969	21,186	10,783	50.9
寄 附 金	10,002	7,502	2,500	33.3
繰 入 金	2,351,397	1,712,793	638,604	37.3
繰 越 金	400,000	400,000	0	0.0
諸 収 入	269,289	224,526	44,763	19.9
市 債 (うち臨時財政対策債)	1,534,300 (800,000)	1,813,100 (950,000)	▲ 278,800 (▲ 150,000)	▲ 15.4 (▲ 15.8)
特 定 財 源 計 (臨時財政対策債除く)	10,383,893	9,419,981	963,912	10.2
一般財源比率 B / A (%)	58.1	60.5		

一般財源・特定財源構成比



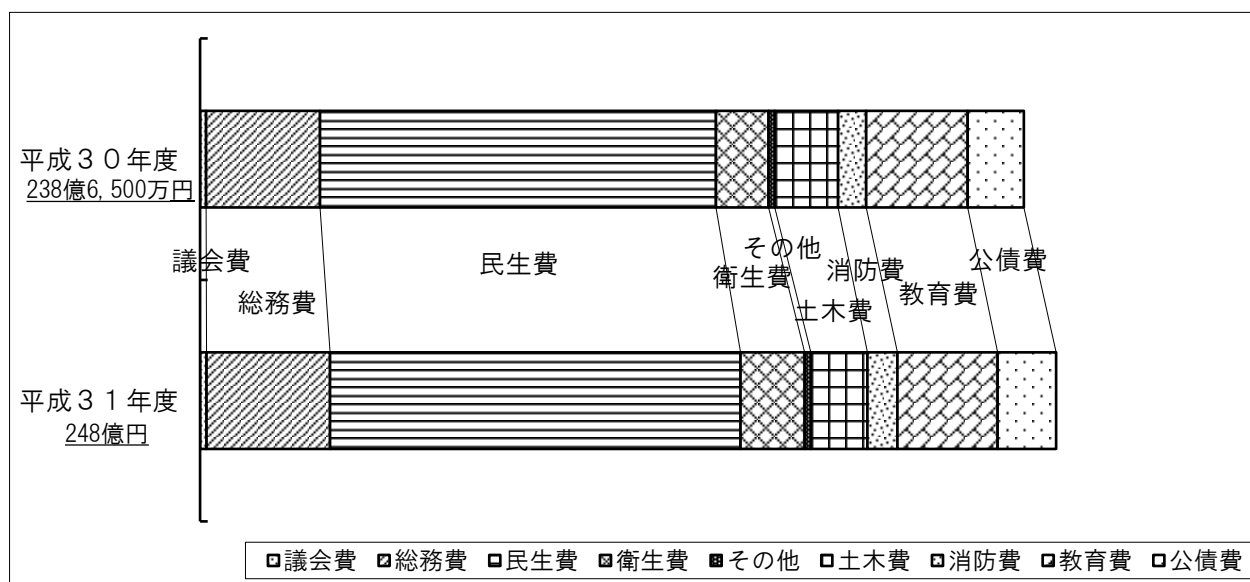
(注) ここでの一般財源は、国の地方財政対策に基づく分類であり、予算書の分類とは異なります。

2 歳 出（目的別）

（単位：千円・％）

目 的 別	平成 3 1 年度		平成 3 0 年度		増減比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
議 会 費	187,567	0.8	174,932	0.7	12,635	7.2
総 務 費	3,578,552	14.4	3,300,678	13.8	277,874	8.4
民 生 費	11,891,251	47.9	11,469,929	48.1	421,322	3.7
衛 生 費	1,857,173	7.5	1,523,711	6.4	333,462	21.9
労 働 費	24,219	0.1	21,725	0.1	2,494	11.5
農 林 水 産 業 費	42,077	0.2	40,164	0.2	1,913	4.8
商 工 費	83,375	0.3	87,099	0.4	▲ 3,724	▲ 4.3
土 木 費	1,639,181	6.6	1,836,028	7.7	▲ 196,847	▲ 10.7
消 防 費	869,443	3.5	813,542	3.4	55,901	6.9
教 育 費	2,902,803	11.7	2,939,595	12.3	▲ 36,792	▲ 1.3
公 債 費	1,694,359	6.8	1,627,597	6.8	66,762	4.1
予 備 費	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
合 計	24,800,000	100.0	23,865,000	100.0	935,000	3.9

（注）構成比は、表示単位未満の四捨五入の関係で、合計と一致しない場合があります。

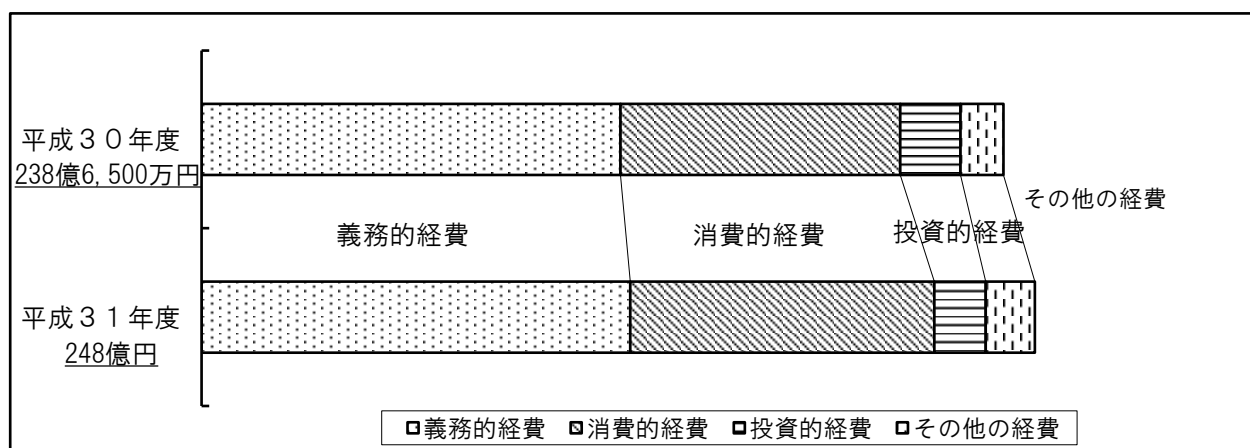


3 歳 出 (性 質 別)

(単位：千円・%)

	性 質 別	平成 3 1 年度		平成 3 0 年度		増減比較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人 件 費	3,786,885	15.3	3,752,135	15.7	34,750	0.9
	扶 助 費	7,277,058	29.3	7,087,884	29.7	189,174	2.7
	公 債 費	1,694,359	6.8	1,627,597	6.8	66,762	4.1
	計	12,758,302	51.4	12,467,616	52.2	290,686	2.3
消費的経費	物 件 費	4,679,891	18.9	4,167,381	17.5	512,510	12.3
	維 持 補 修 費	250,683	1.0	263,781	1.1	▲ 13,098	▲ 5.0
	補 助 費 等	4,119,217	16.6	3,894,720	16.3	224,497	5.8
	計	9,049,791	36.5	8,325,882	34.9	723,909	8.7
投資的経費	普通建設事業費 (補助事業)	109,941	0.4	349,028	1.5	▲ 239,087	▲ 68.5
	普通建設事業費 (単独事業)	1,419,658	5.7	1,443,694	6.0	▲ 24,036	▲ 1.7
	計	1,529,599	6.1	1,792,722	7.5	▲ 263,123	▲ 14.7
その他の経費	貸 付 金	28,298	0.1	33,376	0.1	▲ 5,078	▲ 15.2
	積 立 金	20,023	0.1	17,543	0.1	2,480	14.1
	繰 出 金	1,383,987	5.6	1,197,861	5.0	186,126	15.5
	予 備 費	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
	計	1,462,308	5.9	1,278,780	5.4	183,528	14.4
合 計		24,800,000	100.0	23,865,000	100.0	935,000	3.9

(注) 構成比は、表示単位未満の四捨五入の関係で、合計と一致しない場合があります。



4 主 な 増 減

(1) 歳入

① 市税は増収見込み↑

対前年度比+1億218万8千円(+0.9%)

市税は、全体的に前年度より増と見込みました。なお、歳入全体に占める割合は43.8%となっています。

(主な市税の増減)

市税の名称	予算額 (対前年度比)	主な増減の要因
個人市民税	5,194,098千円 (+29,992千円)	・雇用・所得環境の改善に伴う個人所得の増 ・市内人口増加による納税義務者の増
法人市民税	456,083千円 (+2,228千円)	・企業収益改善による増
固定資産税	4,154,936千円 (+53,759千円)	・家屋の新增築による増
軽自動車税	73,360千円 (+3,421千円)	・軽四輪乗用車の登録台数の増 ・環境性能割の導入による増

② 国庫支出金は増加↑

対前年度比+6,499万3千円(+1.6%)

生活保護費負担金や宗岡第四小学校校舎増築に伴う小学校施設整備負担金が減となったものの、民間保育園の整備に伴う保育所等整備交付金や、民間保育園等の新規開園に伴う子どものための教育・保育給付費負担金が増加したことに加え、障がい者自立支援給付費負担金が増加したことなどにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・保育所等整備交付金	： 335,352千円(対前年度比 +170,634千円)
・子どものための教育・保育給付費負担金	： 797,511千円(対前年度比 + 95,828千円)
・障がい者自立支援給付費負担金	： 680,285千円(対前年度比 + 72,979千円)
・小学校施設整備負担金	： 0千円(対前年度比 ▲ 90,694千円)
・生活保護費負担金	： 1,033,325千円(対前年度比 ▲ 95,036千円)

③ 市債（借金）は減少↓

対前年度比▲2億7,880万円（▲15.4%）

市営墓地拡張整備事業債や志木第三小学校体育館大規模改修事業債が増加したものの、宗岡第四小学校増築や庁舎建設に係る市債及び臨時財政対策債が減少したことにより、対前年度比で減となっています。

【主な内容】

・市営墓地拡張整備事業債	: 201,300 千円（対前年度比 +201,300 千円）
・志木第三小学校体育館大規模改修事業債	: 150,100 千円（対前年度比 +150,100 千円）
・臨時財政対策債	: 800,000 千円（対前年度比 ▲150,000 千円）
・庁舎建設事業債	: 151,200 千円（対前年度比 ▲157,400 千円）
・宗岡第四小学校校舎増築事業債	: 0 千円（対前年度比 ▲412,700 千円）

【参考】一般会計の市債残高の状況

年度	平成 28 年度末	平成 29 年度末	平成 30 年度末 （見込）	平成 31 年度末 （見込）
建設事業債	5,085,970 千円	5,406,244 千円	5,541,382 千円	5,546,986 千円
その他	10,385,054 千円	10,592,906 千円	10,819,603 千円	10,801,586 千円
合計	15,471,024 千円	15,999,150 千円	16,360,985 千円	16,348,572 千円

④ 繰入金は増加↑

対前年度比+6億3,860万4千円（+37.3%）

収支不足額が増加し、財政調整基金からの繰入金は前年度より増額となりました。公共施設安心安全化基金についても、仮庁舎への引っ越し費用などにより繰入金が増となったことから、繰入金全体は対前年度比で増となっています。

また、ふるさと応援資金等でいただいた寄附金を積み立てているまちづくりサポート基金から繰入を行い、寄附者の想いをかたちにできるよう意向に沿った事業へ活用します。

【主な内容】

・財政調整基金繰入金	: 1,765,856 千円（対前年度比 +157,236 千円）
・公共施設安心安全化基金繰入金	: 556,961 千円（対前年度比 +467,625 千円）
・まちづくりサポート基金繰入金	: 14,578 千円（対前年度比 + 6,643 千円）

【参考】一般会計の主な基金残高の状況

年度	平成 28 年度末	平成 29 年度末	平成 30 年度末 （見込）	平成 31 年度末 （見込）※
財政調整基金	2,466,867 千円	2,566,375 千円	2,726,742 千円	961,886 千円
公共施設安心安全化基金	2,667,805 千円	2,483,169 千円	3,167,793 千円	2,612,832 千円

※財政調整基金、公共施設安心安全化基金ともに、平成31年度末残高見込みには利子積立金を含む。

(2) 歳出（目的別）

① 総務費は増加↑

対前年度比+2億7,787万4千円（+8.4%）

人工地盤建設工事が減となったものの、仮庁舎への機能移転費用や現市庁舎解体工事の増などにより対前年度比で増となっております。

【主な内容】

・ 新市庁舎建設、仮庁舎への機能移転に係る経費	:	490,756千円（対前年度比	+490,756千円）
・ 現市庁舎解体工事	:	168,000千円（対前年度比	+168,000千円）
・ 参議院議員通常選挙等管理執行経費	:	102,210千円（対前年度比	+95,368千円）
・ 志木駅ホームドア整備促進事業費負担金	:	58,242千円（対前年度比	+31,478千円）
・ 人工地盤建設工事	:	0千円（対前年度比	▲470,000千円）

② 民生費は増加↑

対前年度比+4億2,132万2千円（+3.7%）

民間保育園等の新規開園に伴う運営費や民間保育園の整備に伴う助成の増のほか、国民健康保険特別会計繰出金の増などにより、対前年度比で増となっております。

【主な内容】

・ 民間保育園の助成等	:	2,894,151千円（対前年度比	+500,193千円）
・ 国民健康保険特別会計繰出金	:	519,108千円（対前年度比	+181,023千円）
・ 学童保育クラブ運営委託料	:	195,577千円（対前年度比	▲62,347千円）
・ 公立保育園の運営費	:	181,394千円（対前年度比	▲72,543千円）
・ 生活保護扶助費	:	1,377,767千円（対前年度比	▲126,715千円）

③ 土木費は減少↓

対前年度▲1億9,684万7千円（▲10.7%）

館第1及び第2児童公園改修工事完了による減のほか、下水道事業への繰出金の減などにより、対前年度比で減となっています。

【主な内容】

・ 赤野毛排水路整備工事	:	55,220千円（対前年度比	+55,220千円）
・ 歩道改修工事	:	40,033千円（対前年度比	▲38,731千円）
・ 館第1及び第2児童公園改修工事	:	0千円（対前年度比	▲68,256千円）
・ 下水道事業繰出金	:	600,000千円（対前年度比	▲100,000千円）

④ 教育費は減少↓

対前年度比▲3,679万2千円（▲1.3%）

宗岡第四小学校校舎増築工事が完了したことなどにより、対前年度比で減となっています。

【主な内容】

・ 志木第三小学校体育館大規模改修工事	:	200,000千円（対前年度比	+200,000千円）
・ 志木第二小学校用地購入費	:	190,000千円（対前年度比	+190,000千円）
・ 埋蔵文化財発掘調査等委託料	:	120,750千円（対前年度比	+80,052千円）
・ 放課後子ども教室運営委託料	:	79,305千円（対前年度比	+60,143千円）
・ 宗岡第四小学校校舎増築工事	:	0千円（対前年度比	▲617,000千円）

(3) 歳出（性質別）

① 物件費は増加↑

対前年度比+5億1,251万円（+12.3%）

仮庁舎への機能移転費用の増のほか、埋蔵文化財発掘調査等委託料や放課後子ども教室運営委託料の増などにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・新市庁舎建設、仮庁舎への機能移転に係る経費	： 228,369 千円（対前年度比 +228,369 千円）
・埋蔵文化財発掘調査等委託料	： 120,750 千円（対前年度比 + 80,052 千円）
・放課後子ども教室運営委託料	： 79,305 千円（対前年度比 + 60,143 千円）
・市営墓地拡張整備発掘調査委託料	： 57,112 千円（対前年度比 + 57,112 千円）

② 扶助費は増加↑

対前年度比+1億8,917万4千円（+2.7%）

民間保育園等の新規開園に伴う運営費の増や、自立支援介護・訓練等給付費の増などにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・民間保育園の運営助成等	： 2,282,681 千円（対前年度比 +279,920 千円）
・自立支援介護・訓練等給付費	： 1,202,204 千円（対前年度比 +112,712 千円）

③ 補助費等は増加↑

対前年度比+2億2,449万7千円（+5.8%）

民間保育園の整備のための補助金や、志木駅ホームドア整備促進事業費負担金の増などにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・新設保育園等整備補助金	： 428,271 千円（対前年度比 +195,801 千円）
・志木駅ホームドア整備促進事業費負担金	： 58,242 千円（対前年度比 + 31,478 千円）

④ 普通建設事業費は減少↓

対前年度比▲2億6,312万3千円（▲14.7%）

宗岡第四小学校校舎増築工事や、人工地盤建設工事の減などにより、対前年度比で減となっています。

【主な内容】

・仮庁舎等改修工事	： 238,000 千円（対前年度比 +238,000 千円）
・志木第三小学校体育館大規模改修工事	： 200,000 千円（対前年度比 +200,000 千円）
・志木第二小学校用地購入費	： 190,000 千円（対前年度比 +190,000 千円）
・現市庁舎解体工事	： 168,000 千円（対前年度比 +168,000 千円）
・人工地盤建設工事	： 0 千円（対前年度比 ▲470,000 千円）
・宗岡第四小学校校舎増築工事	： 0 千円（対前年度比 ▲617,000 千円）

⑤ 繰出金は増加↑

対前年度比+1億8,612万6千円（+15.5%）

国民健康保険特別会計への繰出金の増などにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・国民健康保険特別会計繰出金	： 519,108 千円（対前年度比 +181,023 千円）
----------------	---------------------------------

Ⅳ 平成31年度 特別会計・企業会計の概要

1 特別会計・企業会計の予算概要

(1) 特別会計

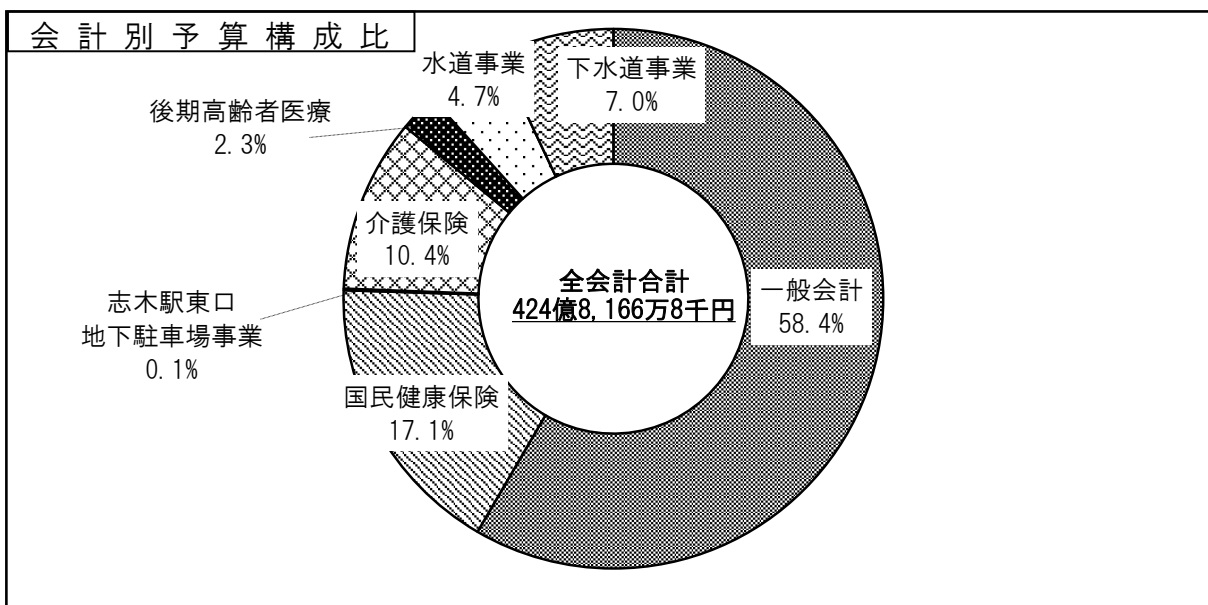
(単位：千円・%)

会計名称	平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
国民健康保険	7,265,174	6,855,197	409,977	6.0
志木駅東口 地下駐車場事業	48,100	49,958	▲ 1,858	▲ 3.7
介護保険	4,413,493	4,399,142	14,351	0.3
後期高齢者医療	974,597	927,739	46,858	5.1
合 計	12,701,364	12,232,036	469,328	3.8

(2) 企業会計

(単位：千円・%)

会計名称	平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
水道事業	2,003,113	2,106,931	▲ 103,818	▲ 4.9
下水道事業	2,977,191	2,897,787	79,404	2.7
合 計	4,980,304	5,004,718	▲ 24,414	▲ 0.5



(3) 各会計への一般会計からの繰出状況

(単位：千円・%)

会計名称	平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
国民健康保険	519,108	338,085	181,023	53.5
介護保険	700,145	698,761	1,384	0.2
後期高齢者医療	164,734	161,015	3,719	2.3
水道事業	8,383	7,925	458	5.8
下水道事業	600,000	700,000	▲ 100,000	▲ 14.3
合 計	1,992,370	1,905,786	86,584	4.5

2 特別会計の概要

(単位：千円)

会計名称	予算額	本年度予算の主な内容			
国民健康保険	7,265,174	(歳入)		(歳出)	
		1 国民健康保険税	1,560,774	1 総務費	80,252
		2 使用料及び手数料	20	2 保険給付費	4,910,247
		3 国庫支出金	1,321	3 国保事業費納付金	2,111,383
		4 県支出金	4,928,753	4 共同事業拠出金	2
		5 財産収入	2	5 保健事業費	139,690
		6 繰入金	731,568	6 基金積立金	50
		(1)一般会計繰入金	519,108	7 公債費	400
		(2)基金繰入金	212,460	8 諸支出金	13,150
		7 繰越金	20,000	9 予備費	10,000
		8 諸収入	22,736		
【予算の概要】 予算額は、歳入歳出とも72億6,517万4千円で、前年度と比較して4億997万7千円、6.0%の増となっています。 主な要因は、被保険者数は減少するものの、県が見込んだ保険給付費等が増加したことによるものです。国民健康保険の都道府県単位化により、都道府県が財政運営の責任主体となるなど、国保財政の基本的な枠組みが変更となったことが影響しています。 なお、保険税収入で不足する財源は、国民健康保険財政調整基金や一般会計からの繰入れで補てんしています。					
志木駅東口 地下駐車場事業	48,100	(歳入)		(歳出)	
		1 財産収入	20	1 駐車場事業費	4,394
		2 基金繰入金	4,060	2 公債費	41,706
		3 繰越金	10	3 予備費	2,000
		4 諸収入 (指定管理者納付金等)	44,010		
【予算の概要】 予算額は、歳入歳出とも4,810万円で、前年度と比較して185万8千円、3.7%の減となっています。 歳入は指定管理者からの納付金、歳出は建設に伴う借入金の返済が主なものとなっています。					

(単位：千円)

会計名称	予算額	本年度予算の主な内容			
介護保険	4,413,493	(歳入)		(歳出)	
		1 介護保険料	1,108,583	1 総務費	108,271
		2 国庫支出金	797,377	2 保険給付費	3,965,561
		3 支払基金交付金	1,109,645	3 地域支援事業費	335,772
		4 県支出金	633,079	4 財政安定化基金拠出金	1
		5 財産収入	10	5 基金積立金	10
		6 繰入金	762,699	6 公債費	667
		(1)一般会計繰入金	700,145	7 諸支出金	2,211
		(2)基金繰入金	62,554	8 予備費	1,000
		7 繰越金	10		
8 諸収入	2,090				
【予算の概要】 予算額は、歳入歳出とも44億1,349万3千円で、前年度と比較して1,435万1千円、0.3%の増となっています。 高齢化に伴う被保険者の増加により、給付実績で見ると依然保険給付費は伸び続けています。					
後期高齢者医療	974,597	(歳入)		(歳出)	
		1 後期高齢者医療保険料	786,060	1 総務費	23,393
		2 一般会計繰入金	164,734	2 広域連合納付金	927,903
		3 繰越金	20,000	3 諸支出金	3,301
		4 諸収入	3,803	4 予備費	20,000
【予算の概要】 予算額は、歳入歳出とも9億7,459万7千円で、前年度と比較して4,685万8千円、5.1%の増となっています。 主な要因は、被保険者数の増加などにより、支出が増加していることによるものです。 なお、保険料率は、平成30年度から均等割41,700円、所得割7.86%で、賦課限度額は62万円となっています。 主な支出は、埼玉県後期高齢者医療広域連合への納付金等となっています。					

3 企業会計の概要

(1) 水道事業会計

《収益的収入及び支出》

(単位：千円、税込)

区 分	予 算 額		比 較	増減率 (%)	説 明
	3 1 年 度	3 0 年 度			
水道事業収益	1,407,190	1,368,876	38,314	2.8	
営業収益	1,329,559	1,292,516	37,043	2.9	水道料金 1,105,507 加入金 128,929 他会計負担金 1,584 他
営業外収益	77,630	76,359	1,271	1.7	長期前受金戻入 75,424 預金利息 1,001 他
特別利益	1	1	0	0.0	
水道事業費用	1,407,190	1,348,129	59,061	4.4	
営業費用	1,302,227	1,257,523	44,704	3.6	原水及び浄水費 520,992 配水及び給水費 127,531 業務費 114,204 総係費 81,669 減価償却費 452,821 他
営業外費用	84,961	70,604	14,357	20.3	企業債利息 53,267 支払消費税 31,194 雑支出 500
特別損失	2	2	0	0.0	過年度損益修正損 1 特別損失 1
予備費	20,000	20,000	0	0.0	
差 引	0	20,747	△ 20,747		

《資本的収入及び支出》

(単位：千円、税込)

区 分	予 算 額		比 較	増減率 (%)	説 明
	3 1 年 度	3 0 年 度			
資本的収入	18,750	297,702	△ 278,952	△ 93.7	
企業債	0	270,000	△ 270,000	皆減	
補助金	10,950	22,250	△ 11,300	△ 50.8	補助金（生活基盤施設耐震化等交付金） 10,950
負担金	7,800	5,452	2,348	43.1	一般会計負担金（消火栓設置工事費負担金） 6,800 工事負担金 1,000
資本的支出	595,923	758,802	△ 162,879	△ 21.5	
建設改良費	372,335	541,070	△ 168,735	△ 31.2	改良工事費 214,960 量水器費 3,615 施設改良費 153,760
企業債償還金	223,588	217,732	5,856	2.7	企業債元金 223,588
差 引	△ 577,173	△ 461,100	△ 116,073		

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 577,173 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 27,311 千円、過年度分損益勘定留保資金 549,862千円で補填するものとする。

《借入企業債残高及び償還内訳》

(単位：千円)

年度	元 金	利 子	合 計	年 度 末 企業債残高
30	217,732	56,423	274,155	2,494,968
31	223,588	53,267	276,855	2,271,380
32	229,626	47,228	276,854	2,041,754
33	233,722	41,025	274,747	1,808,032

《1立方メートル当たりの供給単価及び給水原価（税抜）》

区 分	3 1 年 度	3 0 年 度
供給単価	141円10銭	140円50銭
給水原価	169円91銭	166円13銭
差 額	△28円81銭	△25円63銭

給水収益
----- 年間総有収水量
経常費用－長期前受金戻入
----- 年間総有収水量

(2) 下水道事業会計

《収益の収入及び支出》

(単位：千円、税込)

区 分	予 算 額		比 較	増減率 (%)	説 明
	3 1 年 度	3 0 年 度			
下水道事業収益	1,972,580	2,058,305	△ 85,725	△ 4.2	
営業収益	1,301,173	1,256,760	44,413	3.5	下水道使用料 878,393 雨水処理負担金 325,782 他
営業外収益	671,405	724,225	△ 52,820	△ 7.3	他会計補助金 28,931 他会計負担金 26,863 長期前受金戻入 612,605 他
特別利益	2	77,320	△ 77,318	△ 100.0	
下水道事業費用	1,972,580	1,980,987	△ 8,407	△ 0.4	
営業費用	1,767,467	1,771,307	△ 3,840	△ 0.2	管渠費(汚水・雨水) 116,182 ポンプ場費(汚水・雨水) 110,178 館第一排水ポンプ場費 177,126 総係費 174,466 流域下水道維持管理費 315,000 減価償却費 872,052 他
営業外費用	185,111	189,678	△ 4,567	△ 2.4	企業債利息 109,591 他
特別損失	2	2	0	0.0	
予備費	20,000	20,000	0	0.0	
差 引	0	77,318	△ 77,318		

《資本の収入及び支出》

(単位：千円、税込)

区 分	予 算 額		比 較	増減率 (%)	説 明
	3 1 年 度	3 0 年 度			
資本的収入	618,795	536,013	82,782	15.4	
企業債	277,300	166,100	111,200	66.9	公共・流域下水道事業債 277,300
他会計負担金	61,985	62,051	△ 66	△ 0.1	他会計負担金 61,985
負担金	53,438	47,821	5,617	11.7	受益者負担金 7 工事負担金 53,431
他会計補助金	156,439	200,257	△ 43,818	△ 21.9	他会計補助金 156,439
補助金	52,000	57,000	△ 5,000	△ 8.8	施設耐震化に伴う国庫補助金 52,000
貸付金償還金	2,500	2,500	0	0.0	水洗便所改造資金融資預託金元金収入 2,500
諸収入	15,133	284	14,849	5,228.5	H29年度館第一排水ポンプ場剰余金 他 15,133
資本的支出	1,004,611	916,800	87,811	9.6	
建設改良費	418,330	298,118	120,212	40.3	管渠整備費(汚水・雨水) 134,954 ポンプ場整備費(汚水・雨水) 97,874 館第一排水ポンプ場整備費 142,348 流域下水道整備費 43,154
積立金	15,133	284	14,849	5,228.5	館第一排水ポンプ場管理基金 15,133
貸付金	2,500	2,500	0	0.0	水洗便所改造資金融資預託金 2,500
固定資産購入費	6,506	6,497	9	0.1	事業用地 6,506
企業債償還金	562,142	609,401	△ 47,259	△ 7.8	企業債元金 562,142
差 引	△ 385,816	△ 380,787	△ 5,029		

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額385,816千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額35,361千円、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金350,455千円で補填するものとする。

《借入企業債残高及び償還内訳》

(単位：千円)

年 度	元 金	利 子	合 計	年 度 末 企 業 債 残 高
30	609,399	128,659	738,058	4,603,344
31	562,142	109,591	671,733	4,318,502
32	504,778	95,750	600,528	3,813,724
33	474,937	79,547	554,484	3,338,787

《1立方メートル当たりの使用料単価及び汚水処理原価(税抜)》

区 分	3 1 年 度	3 0 年 度
使用料単価	114円00銭	112円57銭
汚水処理原価	120円53銭	127円83銭
差 額	△6円53銭	△15円26銭

----- 下水道使用料
年間有収水量
----- 汚水処理費用
年間有収水量